

エボニック グループが日本で産学連携に向けた会議を開催

2011年11月17日

エボニック デグサ ジャパン株式会社(本社:東京 新宿区、代表取締役:ウルリッヒ・ジーラー)は11月15日、16日の両日において、エボニック グループと日本の学術関係者の連携を目的とした会議、「Evonik Meets Science in Japan 2011 (エボニック ミーツ サイエンス イン ジャパン 2011)」を東京にて開催しました。

内藤 吾朗

コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7391
FAX 03-5323-7399
goro.naito@evonik.com

当会議はドイツにおいて定期的に開催されているものであり、世界のエボニックグループの研究開発部門と学術関係者の連携の強化を目的として始まりました。今回は初の日本開催となり、「触媒」をテーマにエボニックの研究開発部門からチーフイノベーション オフィサー(CIO)のピーター・ナグラーを筆頭に約30名の、また日本の学術関係者から約20名の参加がありました。このイベントは世界化学年公認イベントとされています。

初日の15日には2010年にノーベル化学賞を受賞された、北海道大学名誉教授の鈴木章氏による基調講演があり、また翌日にはそれぞれの研究テーマをベースに発表がおこなわれ、同時に学生によるポスターセッションもおこなわれました。

エボニックでは産学連携の重要性が強く求められる昨今、共通のテーマのもと産業界・大学側双方の知見を共有し、より良い技術・製品を創出することで世界のメガトレンドに呼応し、持続可能な事業を展開していきます。エボニックは今回の会議を産学関係強化の第一歩として位置づけ、今後とも化学業界全体の発展につながるべく貢献していきます。

エボニックの研究開発部門は総勢2,300人の研究員が世界35カ所の研究開発拠点で研究開発をおこない、世界の300以上の大学とパートナーシップを提携しています。

エボニック インダストリーズについて

エボニック インダストリーズはドイツのクリエイティブな産業グループです。私たちのコアビジネスであるスペシャルティケミカルでは世界的リーダーとなっています。また発電事業や不動産部門も保有しています。私たちの業績は創造性・専門性・自己革新力・信頼性によって作り上げられています。

エボニック インダストリーズは世界100ヶ国以上で活動しており、2010年度は34,000人以上の社員を有し、総売上高は133億ユーロ、EBITDA(金利・税金・償却前利益)は24億ユーロを計上しました。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AGはこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

**エボニック デグサ ジャパン
株式会社**
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モノリス 12F

www.evonik.jp